

森と海をつなぐ植樹のつどい

－岡山県漁業士会－

豊かな森が豊かな海をはぐくみます

岡山県の海には、吉井川、旭川、高梁川などの川を通じて陸域の栄養※が供給されています。豊かな森林があると、落ち葉などが分解されて栄養豊富な土壌が形成されます。雨が降り、その栄養が川を伝って海へ供給されると、魚のえさとなる植物プランクトンや海藻類がよく育ち、生態系の豊かな海になります。

※ここでは窒素、リンなど、植物プランクトンや海藻類の生育に欠かせない栄養塩類の総称を指します。



供給された栄養は、海の生態系を支えています。

漁業関係者による取組

豊かな岡山の海をめざして、岡山県漁業士会が中心となり、地元森林組合や市町等と連携して、毎年各地で植樹や下草刈り等の活動を行っています。現在は新見市大佐と苫田郡鏡野町奥津の2か所で活動しています。活動は平成16年から始まり、これまで延べ2,200名を超える関係者が1.81ha、4,600本の木を植えてきました。



岡山県漁業士会とは

地域の中核的な担い手となる漁業者として県に認定された漁業士を中心に組織され、水産業の振興、漁村地域の活性化に寄与することを目的として活動しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

